

自助…自らの命は自ら守る！

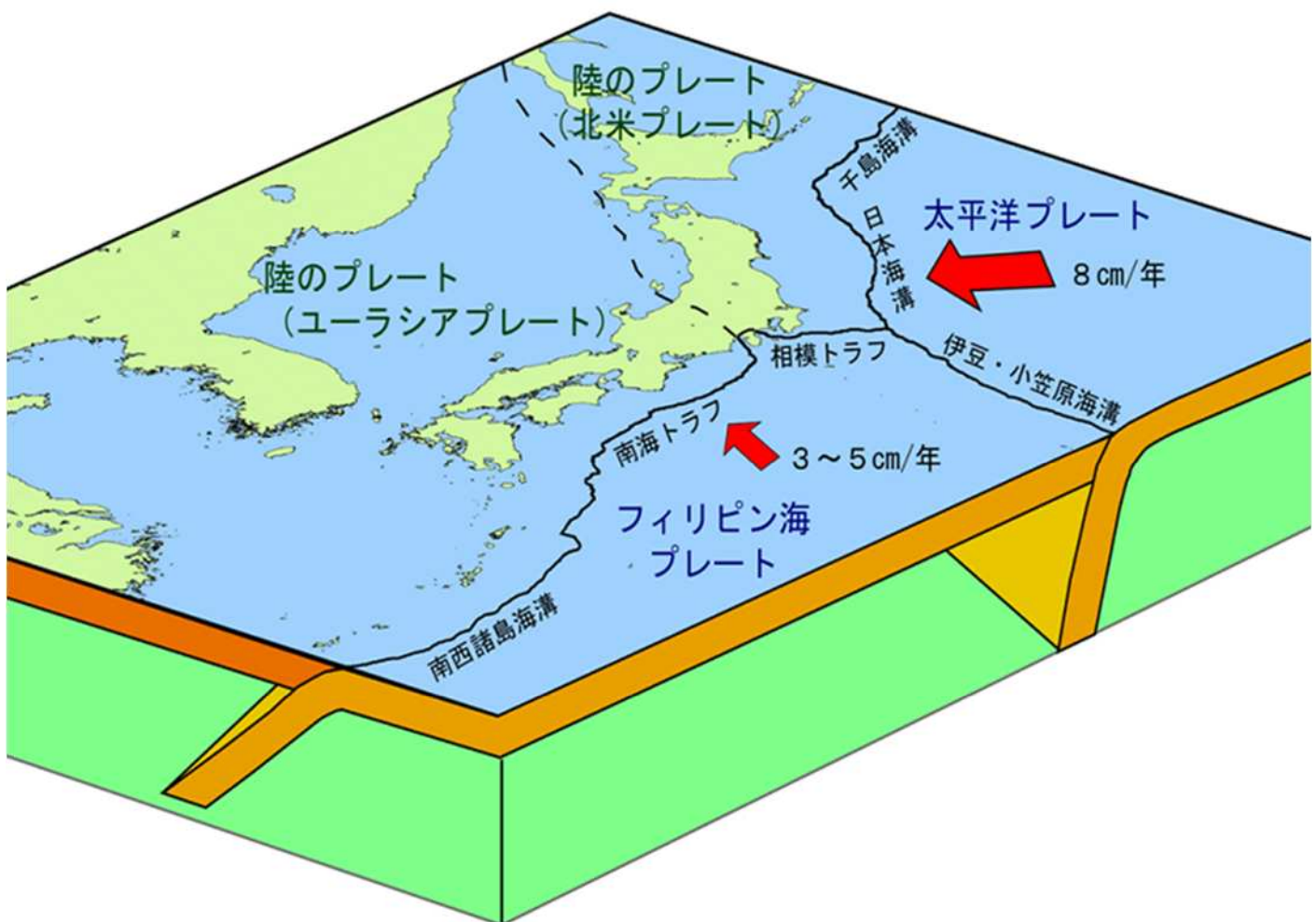
南海トラフというのは、和歌山県や高知県から南に進んだ海の底にある水深 4000mほどの深い溝（海溝）のことを言います。

トラフというのは、深さが 6000mまでの海溝のことを指し、日本の南側には「相模トラフ・駿河トラフ・南海トラフ」などが集中しています。

ここは大きなプレートの境界値となっているために、もともと大規模な地震が起こりやすい地域でもあります。

プレートとは、地球を覆っている大きな岩石層のことで、プレートには「大陸系」のものと「海洋系」のものがあります。

日本周辺では、「ユーラシア大陸プレート」と「北アメリカ大陸プレート」、それに「太平洋プレート」と「フィリピン海プレート」が絡んで密接に関係しています。



南海トラフ地震の被害の範囲の広さや震度の大きさが問題視されていますが、南海トラフ地震の恐ろしいとされているのがいつ起きてもおかしくない状態ということです。30 年以内における確立が約 80%と予想されていますので地震に対する備えを十分におきましょう！

次回は、南海トラフ臨時情報についてお知らせいたします。

下呂市市長公室危機管理課